

『令和元年度学生による授業評価結果報告』

川崎医療短期大学 FD・SD 委員会

本学では、平成 21 年度から学生による授業評価を組織的、継続的に実施している。授業評価の目的は、各教員が授業方法の改善点を見出すとともに、大学教育の質的向上を図ることにある。そのために、授業に関する自己点検・評価活動を継続し、FD 活動を展開している。

本年度は、看護科、医療介護福祉科 2 学科の学生を対象とした。実施科目は、すべての専任教員、非常勤教員が行う科目とし、2 年間で全科目を行うこととした。また名称を「学生による授業評価」に変更し、前期・後期それぞれの学期末に授業評価を受けた。調査内容は、1) 学生の自己評価 (4 項目)、2) 授業の基礎的な事項 (4 項目)、3) 学習の推進に関する事項 (3 項目)、4) 総合評価 (2 項目) の計 13 項目とした。回答は、「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」「どちらでもない」「ややそう思う」「とてもそう思う」の 5 段階評価とした。学生には Web (moodle) でアンケートに回答してもらい、自由記述による授業への意見・要望も求めた。調査結果に基づいて、各教員は科目ごとの「教員による自己点検報告書」を提出した。

以下に全体の集計結果を示す。全体平均は前期、後期とも 4.3 と高い満足度が示された。特に令和元年度は、授業評価結果を学生に示し、学生参画による FD 活動を実施した。学生は「学生の自己評価：授業外学習」の項目の点数が最も低いことに着目し、自分たちの授業時間外学習の少なさの原因や、どうしたら時間外学習を増やせるかなどの提案が出された。それを受け改善策を検討する教職員による FD・SD 研修を実施した。その結果、後期の評価では学生の授業時間外学習の評価点の上昇がみられた。

令和元年度 授業評価結果集計表

大項目	質問項目	前期	後期
I 学生の自己評価	1) 私は、シラバスの内容（到達目標、授業内容、評価方法）を理解している。	4.2	4.2
	2) 私は、この授業中、マナー（携帯電話、私語、いねむり、遅刻、早退をしない）を守った。	4.4	4.4
	3) 私は、授業に意欲的に取り組んだ。	4.4	4.4
	4) 私は、授業外学習（予習、復習を含む）をした。	3.8	3.9
II 授業の基礎的な事項	5) 教員は、授業のテーマや到達目標、内容、評価方法等を予め明確に示した。	4.3	4.3
	6) この授業は、シラバス（到達目標、授業内容）に基づいて行われた。	4.4	4.4
	7) 教員は、時間割に沿って授業を行った（休講、変更をあまりしない）。	4.4	4.4
	8) 教員は、学生が授業に集中できる環境を整える努力をしていた。	4.3	4.3
III 学習の推進に関する事項	9) 教員は、学生が興味を持てるよう授業内容や方法を工夫していた。	4.2	4.3
	10) 教員の板書や配付資料、視聴覚機器等の教育器材の使用によって理解が深まった。	4.3	4.3
	11) 教員は、授業を適切な進度で行った。	4.3	4.3
IV 総合評価	12) 私は、シラバスで求められた到達目標をほぼ達成できた。	4.1	4.1
	13) 私は、総合的にこの授業に満足している。	4.2	4.3